

「逆境に負けない！銚子電鉄の取組」

～地域密着で愛される企業に～

講師

銚子電鉄株式会社

代表取締役

竹本勝紀氏

町村議会議員研修会

10/2 水

於 吉見町「フレサよしみ」

初めに講師から銚子市の概況の説明があり、銚子は漁港の街で一昨年末まで10年連続日本一の水揚げ高があり、また醤油の醸造も盛んな街であると紹介がありました。

銚子電鉄の苦境は親会社の倒産により存続が困難な状況になりましたが、25名の社員は諦める事なく電車内でビールやお菓子等を販売したり、駅の横にあったホテイ草までも売ってお金を作った中で、醤油の街でもあったことから、当時流行り始めていた「ぬれ煎餅」を作ってはどうかと提案があり、三ヶ月程の試行錯誤を繰り返して作り上げたところ、鉄道の売り上げを上回り存続の危機を免れたそうです。

第2の苦境は社長の横領により一億円以上が消えてしまい、その額はぬれ煎餅の一年分の売上げに相当するものでした。再び危機が訪れてしまい、鉄道を動かすには早急にお金が必要となり、恥を忍んでインターネットを活用し「ぬれ煎餅を買って下さい。電車の修理代を稼がなければならぬ」と呼びかけたところ、デジタルの向こう側にはアナログの温かい心を持った

人達がいいて、一万人を超える方々から注文を受け、危機を乗り越えたという人情味溢れるお話を聞く事が出来ました。

研修会の結びには、人生も会社も経営も信じる事が大事であり、決して諦めない心が困難を突破する事ができる。諦めない心で人生を前向きに歩み、逆境に負けない勇気が出た研修会でした。講師から学んだ事を今後の議員活動に生かして行きたいと感じた秋の一日でした。

総務建設常任委員会
委員長 田島國利



広域圏

令和6年児玉郡市広域市町村圏組合議会第3回定例会

令和6年9月30日(月)開催

○令和5年度 一般会計歳入歳出決算を認定

歳入総額 44億 1,631万 4,883円
歳出総額 42億 318万 965円

歳入の主なものは、各事業に対する構成市町の負担金35億1,413万4千円で、全体の79.6%を占めます。その他のものでは、小山川クリーンセンター手数料が約2億2,340万円、余剰電力売電料金が約1億3,861万円、斎場使用料が約4,243万円となっています。

歳出については、主に組合各施設の管理運営経費ですが、臨時的な経費の主なものとして、火葬棟天井改修工事(斎場)、主灰搬送コンベヤ更新工事及び蒸気タービン車室整備工事(小山川クリーンセンター)がありました。また、予算に対する執行率は95.6%となっています。

歳出の主な内容は、下記のとおりです。

総務費	2億 6,248万 7,035円
斎場運営費(こだま聖苑)	1億 1,069万 76円
余熱利用施設運営費(湯かつこ)	8,143万 5,857円
利根グリーンセンター費	2億 1,914万 5,886円
小山川クリーンセンター費	12億 8,325万 7,231円
消防費	18億 6,086万 9,851円
公債費	3億 6,933万 8,494円

○児玉郡市広域市町村圏組合手数料徴収条例の一部改正

特定家庭用機器再商品化法施行令の一部改正等に伴う所要の改正で、減免することができる手数料の見直しとして、別表第3の手数を減免することができるように改正するものです。

また、品名の追加に伴う規定の整備として、政令の一部改正のため、特定家庭用機器に有機エレクトロルミネセンス式テレビジョン受信機が加わることに伴い、品名及び規格の欄を削除します。

その他として、文言の整理をします。

○令和6年度一般会計補正予算(第1号)

補正額 1,009万 4千円
補正後の額 43億 6,473万 7千円

歳出の主な内容は、余熱利用施設外壁調査業務の調査方法を赤外線調査から打診調査に変更したことにより、高所作業車や仮設足場等の費用分を新たに追加するほか、常備消防事務費として令和7年度採用職員の被服5人分を新たに計上するものです。また、4月1日の人事異動による人件費の増減を補正するものです。その他では、債務負担行為の事項、期間、限度額を追加しました。

(美里町選出議員：田端恵美子・櫻沢克幸)